

★★★<第16回知的財産翻訳検定試験【第9回和文英訳】> ★★★

《1級課題「機械工学」》

【解答にあたっての注意】

1. 課題文の指示に従って英訳してください。
2. 解答語数に特に制限はありません。
3. 課題文に段落番号がある場合、これを訳文に記載してください。
4. 課題は3題あります。それぞれの課題の指示に従い、3題すべて解答してください。

問1 ***START**から***END***を英訳してください。

START

【0002】従来、小型電子機器として、カメラ一体型ビデオテープレコーダやトランシーバ等の電源に、1次電池や2次電池等の電池を使用するものがある。これらの電池は容易に入手可能なことから、ユーザは気楽に使用することができ使い勝手を向上し得る。ところが一般のユーザは、この電池の使用時間が温度によって大きな影響を受けるという認識が薄い。このため例えばスキー場や雪山のように低温状態で、電池を使用する小型電子機器を使つたときに、使用できる時間が極端に短かくなると故障ではないかと不安感を抱く問題があつた。

【0003】實際上、例えば摂氏20度前後の常温の環境下における使用時間に対して、摂氏0度以下の低温の環境下における使用時間は、約1/2以下になる場合がある。因に、単3型アルカリ乾電池での摂氏25度と10度の環境下における電池持続時間差は、約1/2～1/4となる。

【0004】かかる課題を解決するべく、このような電池において、流通する際の梱包部材の表面上に、温度により色が変化する温度感知素材でなる温度特性表示手段を設けたものが提案されている。また、電池の表面上に、温度により色が変化する温度感知素材でなる温度特性表示手段を設けるようにしている。これで使用される温度を温度特性表示手段の色の変化で認識でき、かくして温度による使用可能時間を表示してユーザの使い勝手を向上し得るというわけである。

END

問2 ***START**から***END***を英訳してください。

START

【0030】図1は、コリメートレンズが接着固定される中間部材120の斜視図である。この実施例1の中間部材120は、表面と裏面とに接着座面としてコリメートレンズに見合った窪み121a, 121bを設けたものである。また、中間部材120の主走査方向両端部付近にネジが挿入される貫通孔124が設けられている。一方の貫通孔124は、他方の貫通孔に対して、中間部材120Aの主走査方向中央部を通る光軸方向の線を基準にして線対称に設けられている。貫通孔124を上述のように設けることにより、光走査装置をリユースするとき、筐体に対する中間部材120の取り付け姿勢を前回の取り付け姿勢に対して光軸回りに180度異ならせて取り付けることができる。これにより、接着剤が付着していない中間部材裏面の窪み121bを新たに接着座面として用いることができる。

【0031】窪み121a, 121bの表面に凹凸を設け、その表面積をコリメートレンズ外周面の表面積よりも大きくするのが好ましい。このように、窪み121a, 121bの表面積を大きくすることにより、接着剤が窪み121a, 121bに残り、コリメートレンズに付着するのを抑制することができる。

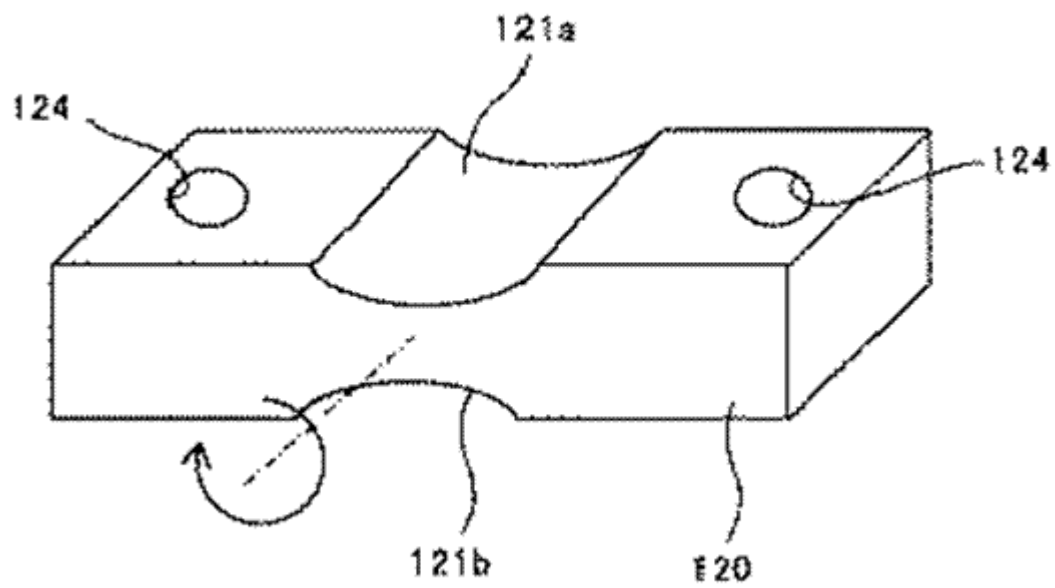
END

問3 請求項1を英訳して下さい。英訳は、米国出願を想定していますが、図中の参照番号を答案の各部材に付して記入して下さい。

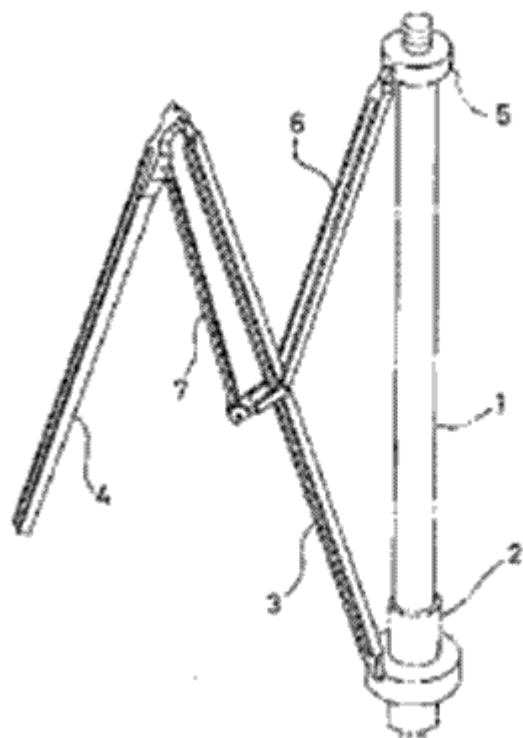
【請求項1】

一端に石突きを他端に取っ手を備えた傘軸、その傘軸の石突き方向の端部に固定された固定ろくろ、その固定ろくろに放射状に固定された傘骨、傘軸の軸方向を移動可能な移動ろくろ、およびその移動ろくろと傘骨とを連結する受け骨を備えた傘の骨組み構造に使用するリンク機構であって、固定ろくろの周囲に対して一端を回動可能に固定される複数の連結骨、その連結骨の反固定ろくろ側の端部に対して一端を回動可能に固定される複数の駆動杆、およびその駆動杆の反連結骨側の端部に対して軸方向の中間部分を回動可能に固定される複数の親骨とを備えて形成する傘骨と、移動ろくろの周囲に一端を回動可能に固定し、他端を親骨の固定ろくろ側の端部に回動可能に固定し、連結骨との交点を軸支した受け骨とを備えたことを特徴とする折り畳み傘リンク機構。

【1級 機械工学 問2 図1】



【1級 機械工学 問3 図1】



【1級 機械工学 問3 図2】

